

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	158 多文化共生推進事業									
戦略プラン	I	4	3	国際化の推進	担当部課	市民部国際交流室				
総合戦略	III	1	(6)	国際化の推進	係名					
					新規・継続	継続				
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分					市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	つくば市グローバル化基本指針									
根拠法令					事業体制	補助金（直接）				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>多様な国際交流や国際的な相互理解に基づく多文化共生を推進する事業を行う一般財団法人つくば市国際交流協会（以下「市国際交流協会」という。）を支援することにより、国際意識の啓発と多文化共生社会の形成に資する。</p>					<p>協会単独事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人住民が日本語を話したり、日本文化に触れることができるイベントの開催 医療通訳ボランティアのスキルアップ研修の実施 <p>市その他関係団体との連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 国籍を越えた市民交流を推進するためのイベント等の開催 					
評価										
事業計画					活動実績					
<p>市国際交流協会ほか関係団体との連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流フェアの実施 つくばワールドフットサル2018の開催 外国人のための相談室事業 医療通訳ボランティア育成・派遣 市国際交流協会会報（協会の事業内容について、市民向けに年度内2～3回不定期発行）を4、10月頃区会回覧し、市職員にもPRする。 					<ul style="list-style-type: none"> 国際交流フェア開催（ブース24団体、ステージ13団体） つくばワールドフットサル2018開催（参加者計321人、うち外国人56人 外国人比率17.5%） 外国人のための相談室事業（実績 英語19件、中国語14件、日本語9件、合計42件） 医療通訳ボランティアの派遣（77件） 庁内職員向けに市国際交流協会会報を周知し、協会事業のPRを行った。 					
成果					課題					
<p>つくばワールドフットサル2018は8回目となり、毎年参加する外国人も見受けられ、イベントの定着化が進んでいる。市国際交流協会事業の医療通訳ボランティア派遣事業は、周知活動等により件数が約3倍に急増した昨年度の水準をおおよそ維持でき、外国人住民が安心して医療機関を受診できる環境を提供できた。</p>					<p>市民から国際交流協会事業の問合せが当室にあることが多く、市国際交流協会の認知度は高くないことが伺えるため、市民向けにより一層周知を行う必要がある。つくばワールドフットサルにおける外国人参加者の安定的確保が必要である。</p>					
改善目標（R01年度にむけて）										
<p>本年度つくばワールドフットサルの参加料増額に伴い、外国人参加者割合が減少（H29：29.3%→H30：17.5%）したため、大会内容の充実を図ることで、外国人参加者の増加及び安定的な確保を図る。市国際交流協会の事業について、交流イベントや広報紙等で周知を行い、認知度を向上を図る。</p>										
指標の推移										
1	指標名	事業の実施数					(事業)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	15.0	16.0	16.0	17.0	17.0	17.0	17.0		
	実績	15.0	17.0	26.0	17.0	16.0	0.0	0.0		
	指標の概要	市及び市国際交流協会が実施している多文化共生に関する事業数（市内国際交流活動のみ）								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
			(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	34,901	35,071	35,087	0
事業費計		(千円)	34,901	35,071	35,087	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.80	1.12		
		時間外勤務 (時間)	143.00	255.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	6,047	8,537		
事業コスト		(千円)	40,948	43,608		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 報償費 (132千円) : 講師謝礼 12,000円×1、多言語版ウェブサイト記事翻訳謝礼 120,000円×1 需用費 (297千円) : 事務用消耗品 50,000円×1、チラシ印刷代 66,000円×1、外国語パンフレット印刷代 181,440円×1 委託料 (486千円) : ホームページ保守管理委託料 399,600円×1、外国語パンフレットデータ作成委託料 86,400円×1 負担金補助及び交付金 (34,170千円) : (一財) つくば市国際交流協会運営費補助金 34,000,000円×1、国際交流事業負担金 150,000円×1、茨城県日中友好協会負担金 10,000円×1、つくば日中友好協会負担金 10,000円×1 積立金 (2千円) : 国際交流基金積立金(利子分) 2,000円×1
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	159 国際交流員・留学生交流員事業									
戦略プラン	I	4	3	国際化の推進	担当部課	市民部国際交流室				
総合戦略	III	1	(6)	国際化の推進	係名					
					新規・継続	継続				
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分				事業期間	市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	つくば市グローバル化基本指針					事業体制	職員のみ			
根拠法令					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
外国人が生活する上で、言語や社会制度の違いから生じる不便・不安を軽減するとともに、日本人市民の国際理解を深め国際社会適応力の育成を図る。					<ul style="list-style-type: none"> 来庁した外国人の通訳及び案内を行う。 市が発行する文書や冊子等の翻訳を行う。 市が携わる、国際交流事業に係る調整及び通訳・翻訳を行う。 留学生交流員を委嘱し、8か国語の外国語広報紙を発行する。 青少年の国際感覚の醸成のため国際理解講座を実施する。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 来庁した外国人の通訳及び案内 市が発信する文書や冊子等の翻訳 多言語版ホームページに韓国語を追加 市が携わる国際交流事業に係る調整及び通訳・翻訳 留学生交流員を委嘱し、8か国語の外国語広報紙を発行 国際理解講座の実施 					<ul style="list-style-type: none"> 来庁における通訳件数：英語696件/中国語80件 翻訳依頼件数：英語72件/13件 多言語版ホームページに韓国語を追加し、やさしい日本語を含めた4言語で随時運用 留学生交流員を委嘱し、8か国語の外国語広報紙を11,834部発行（8言語の年間総合計） 国際理解講座を13講座実施 人事課人材育成係と共催で窓口職員を対象に外国人対応研修を開催 					
成果					課題					
通訳や翻訳で、円滑な市政運営に資することができた。多言語版ホームページと外国語広報紙の提供言語を拡大したことで、情報をより広範囲かつ正確に周知できた。昨年度に続き窓口職員対象の外国人対応研修を開催したことで、外国人へのよりの確な対応につながった。					情報発信や翻訳時間の短縮化、迅速かつ正確に情報を伝達する方法を検討する必要がある。広報紙配布部数の減少に伴い、新規設置・配布場所の開拓年々増加する翻訳・通訳件数への対応					
改善目標（R01年度にむけて）										
web上での情報発信について、頻繁に使用する情報発信時のテンプレートを作成する。 外国人受入環境整備交付金を活用した一元的相談窓口の設置に伴い、通訳アプリを導入することで、対応言語の拡大と通訳の負担軽減を図る。										
指標の推移										
1	指標名	通訳対応件数					(件)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	250.0	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0		
	実績	512.0	517.0	571.0	734.0	776.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度	平成30年度	令和 1年度	令和 2年度
			(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	7,366	4,955	6,126	0
事業費計		(千円)	7,366	4,955	6,126	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.80	1.13		
		時間外勤務 (時間)	22.00	75.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	5,742	8,162		
事業コスト		(千円)	13,108	13,117		

- R01年度当初積算根拠
- ・国際交流員報酬 (3,840千円) : 国際交流員報酬 月額160,000円×12月×2人
 - ・謝礼 (1,562千円) : 留学生交流員謝礼 (1,324千円)、通訳翻訳謝礼 (238千円)
 - ・費用弁償 (395千円) : 国際交流員通勤手当 810円×244日×2人
 - ・需用費 (253千円) : 印刷製本費 (249千円)、行事用食材費 (4千円)
 - ・役務費 (76千円) : 通信運搬費 (10千円)、プロバイダ使用料 (60千円)、通訳者派遣手数料 (6千円)

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	4,000	4,000	4,000	0
事業費計		(千円)	4,000	4,000	4,000	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	1.12		
		時間外勤務 (時間)	0.00	15.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	711	7,942		
事業コスト		(千円)	4,711	11,942		

R01年度当初積算根拠	・補助金(4,000千円) 国際バカロレアプログラムに対する補助金					
-------------	-----------------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,177	1,390	7,212	0
事業費計		(千円)	1,177	1,390	7,212	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.80	1.13		
		時間外勤務 (時間)	40.00	90.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	5,787	8,199		
事業コスト		(千円)	6,964	9,589		

R01年度当初積算根拠

- 特別旅費 (4,953千円) :
 - 深セン市視察 (市長・副市長・随行3名) 運賃530千円+宿泊費197千円+旅費雑費110千円
 - 米国3姉妹都市視察 (市長・副市長・随行3名) 運賃3,250千円+宿泊費516千円+旅費雑費350千円
- 食糧費 (1,307千円) :
 - 飲み物代19千円+親善使節団賄648千円+深セン市訪問団賄540千円+姉妹都市等視察時賄100千円
- その他 (952千円) :
 - 記念事業協力者謝礼209千円+費用弁償108千円+普通旅費84千円+国際親善記念費249千円+通信運搬費119千円+海外渡航者保険料114千円+バス運転業務委託料11千円+駐車場使用料18千円+施設入場料40千円

予算の方向性	理由	友好都市：深セン市への他に、米国3市の姉妹都市視察にかかる特別旅費を確保するため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		